

私たちの主、主よ。あなたの御名は全地にわたり、なんと力強いことでしょう。  
あなたのご威光は天でたたえられています。あなたは幼子と乳飲みたちの口によって、力を打ち建てられました。  
それは、あなたに敵対する者のため、敵と復讐する者となし、すめるためでした。  
あなたの指のわざである天を見、あなたが整えられた月や星を見ますのに、人とは、何者なのでしょう。  
あなたがこれを心に留められるとは。人の子とは、何者なのでしょう。  
あなたがこれを顧みられるとは。あなたは、人を、神よりいづらか劣るものとし、  
これに栄光と誉れの冠をかぶらせました。あなたの御手の多くのわざを人に治めさせ、  
万物を彼の足の下に置かれました。すべて、羊も牛も、また、野の獣も、空の鳥、海の魚、海路を通うものも。  
私たちの主、主よ。あなたの御名は全地にわたり、なんと力強いことでしょう。（詩篇8篇）

# CFNJ NEWS

クライスト・フォー・サ・ネイションズ・ジャパン 聖書学院 200.6・7月号 No138

北海道釧路市 三井物産ビル 三井物産ビル 三井物産ビル



## 神の驚くべき創造

■自然界とすべての被造物を見渡すならば、すべてを創られたお方の偉大さを知ることができます。このような驚くべき秩序や目覚ましい美しさは、宇宙的偶然やビッグバンのような無秩序な爆発からは生まれてきません。このような仮説を信じる方がもっと多くの信仰を必要とするのです。それよりは、へりくだって聖書に書いてある通りの神を信じるべきです。神のみことばは、神がどのようなお方であり、なぜそのようなお方であるのかを説明しています。（詩篇8篇一表紙に記載）

## 人間は楽器として神に設計された

■みことばを更に詳しく見ていくならば、神が人を創られた時、神は私たちと交わるために、そしてご自分の家族の一員とするために私たちを創られたことを知ります。私たちは自分たちを見る時に、自分たちがとてもユニークな楽器を組込まれた者として神に創られていることを発見します。なぜでしょうか？（エペソ1：3～6）によりますと、人間は神の恵みの栄光がほめたたえられるために創られたからです。私たち自身が神への絶え間のない賛美と礼拝となるべく召されているのです。私たちは、唯一賛美されるにふさわしいお方への賛美のいけにえをささげるのです。

ご存知のように、各国にはそれぞれの音楽的表現と独自の楽器がありますが、ほとんどの楽器は三種類の基本的な楽器に分けることができます。これらが組み合わさって、すばらしい音楽の音色（Sound of Music）を奏でるのです。世界中どこに行っても見出すことのできる三つの基本的な楽器とは、弦楽器、管楽器、そして、打楽器です。驚くべきことに、この三つの楽器を人間の体の中に見ることができます。①私たちののどの中には声帯があり、歌う時にこれが振動し声となります。②私たちにはバグパイプのように機能する肺があるので、口笛を吹いたり、トランペットやホルンのような音を出すことができます。③さらに私たちには、打楽器のように機能する舌、手、足があることにより、口でビートを生み出したり、手拍子を取ったり、足を打ち鳴らすことができます。これら三つの基本的な楽器すべてが私たちの体の中に組み込まれているのです。私たちは自分たちが神にどれほど不思議に創られているかを知らずにこれらの楽器を使うことがあるのです。

「それはあなたが私の内臓を造り、母の胎のうちで私を組み立てられたからです。私は感謝します。あなたは私に、奇しいことをなさって恐ろしいほどです。私のたましいは、それをよく知っています。私がひそかに造られ、地の深い所で仕組みられたとき、私の骨組みはあなたに隠れてはいませんでした。あなたの目は胎児の私を見られ、あなたの書物にすべてが、書きしるされました。私のために作られた日々が、しかも、その一日もないうちに。神よ。あなたの御思いを知るのはなんとむずかしいことでしょう。その総計は、なんと多いことでしょう。それを数えよ



うとしても、それは砂よりも数多いのです。私が目ざめるとき、私はなおも、あなたとともにいます。」（詩篇139：13-18）

■神は私たちをとて精巧な楽器として創りましたが、それはすべて神への賛美と礼拝のためなのです。私たちの話す言語というのも音楽的であり、文化によっては、イントネーションや音の違いによって、言葉の意味以上の意味を表現していることもあるのです。

「その後、私は見た。見よ。あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大ぜいの群衆が、白い衣を着、しゅろの枝を手に持って、御座と小羊との前に立っていた。彼らは、大声で叫んで言った。「救いは、御座にある私たちの神にあり、小羊にある。」御使いたちはみな、御座と長老たちと四つの生き物との回りに立っていたが、彼らも御座の前にひれ伏し、神を拝して、言った。「アーメン。賛美と栄光と知恵と感謝と誉れと力と勢いが、永遠に私たちの神にあるように。アーメン。」（黙示録7：9-12）

## 聖霊が賛美と礼拝を助けてくださる

■このように神は私たちをすばらしく設計してくださっていますが、神の目的を達成するためには一つの条件があります。それは、神を霊とまことをもって礼拝することを可能にくださる聖霊を持つということです。

「しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。」（ヨハネ4：23）イエス様を主、また、救い主として受け入れないならば、私たちは永遠の目的に関係のない、むなしい音しか生み出せません。

■聖書は、心を尽くして神を礼拝するよにと教えています。聖霊は、私たちの存在の中心に住むことを熱望しています。私たちがすべての罪を悔い改めて、イエス様を主、また、救い主

として受け入れるならば、聖霊が私たちのうちに来てくださり、私たちは聖霊に満たされる準備ができます。聖霊は私たちを助けて、みこころのままに私たちを主への礼拝へと導いて下さいます。「神の御霊に導かれる人は、だれでも神の子どもです。」（ローマ8：14）

■聖書には、ペンテコステの日に、ご自分を信じる者に与えたとイエス様が約束した聖霊（使徒1：8）を熱心に求めた者たちの上に、突然聖霊が来て彼らを満たしたと記されています。ペンテコステの祝いに参加するために多くの国の人々がエルサレムに来ていましたが、彼らはその時、それぞれ自分の国の言葉で弟子たちが話すのを聞きました。弟子たちは、神の不思議なみわざや、神の偉大さを宣言しました。聖霊がこのことを可能にしたので、弟子たちは、様々な国の言葉で神を賛美し礼拝したのです。（使徒2：1-11）

■神は、ご自分を霊とまことをもって礼拝する者を探し求めておられます。神は実に、ご自分の創造すべてを通してこの事が起こることを意図したのです。詩篇150篇にあるように、すべてのものが神を礼拝すべきなのです。「息のあるものはみな、主をほめたたえよ！」神が私たちの礼拝を必要としているわけではないのですが、主を礼拝することによって、私たちは主の油注ぎと祝福を受けるのです。

## 聖書に見られる賛美礼拝の力

■聖書には神への賛美礼拝が神のご介入や祝福を、賛美する者たちにいかにもたらすかという例がたくさんあります。ヨシャパテの困難な時代に、イスラエルは主に向かって歌い、イスラエルに攻めて来ていた三つの敵の軍隊すべては打ち負かされました。（II歴代誌 20 章）

■賛美の力は捕われ人を解放し、圧迫の下にある人々を解放します。ダビデが自分の立琴をサウル王のために奏でた時もこのことが起こり、悪霊はサウルから離れていきました。（Iサムエル 16:14-23 詩篇 32:7）

■使徒行伝の中に驚くべき話があります。初代教会のパウロとシラスは福音のために囚人として牢獄に入れられ縛られていました。鞭打たれ傷ついていましたが、そのつらい時でさえ彼らは主を賛美することを決めました。彼らが賛美を歌い、囚人達が聞き入っていた時、突然、主は大地震を起こされ、すべての囚人の鎖が解け、とびらが全部開きました。すべての囚人が解放されたのです！（使徒 16:11-26）

■私たちが神を賛美し礼拝する時、聖霊が捕われ人を解放しようとするところで霊的戦いが始まります。だからこそ私達は霊とまことによって神を賛美することが非常に重要なのです。ご自身の民に神は応えてくださるということ信じなければなりません。

■賛美礼拝は教会の集まりの時だけに限られるべきものではなく、私たちの人生そのものが継続的な賛美礼拝であるべきことをよく考えなければなりません。状況は関係ありません。鳥が毎朝さえずるように私たちも日々主を賛美すべきなのです。このような生き方は、私達が超自然的な領域にあるものを見たり、超自然的な領域で行動する事を可能にします。

## 日本で賛美と礼拝が増え広がる

■日本は歌うことを愛し、音楽を愛する国です。自分自身を表現したり、深い意味をともなったすばらしい音楽を作り出すような賜物が与えられている人がたくさんいます。しかし、そのすべてはどこへ向かっているのでしょうか？誰に向けられているのでしょうか？日本の人々はそれによって永遠の祝福を受け取っているのでしょうか。私達は音楽の永遠の意味を見つける必要があります。その最終的な答えとは、神によって計画されたものであり、神のうちにあり、神に向かっているということです。

■CFNJ聖書学院は日本で新しい世代の礼拝者を訓練する召しがあります。今日、日本で新しい世代が立ち上がり、さらに聖霊の力強いほどばしりに満たされていっています。新鮮な油注ぎがこの国に来ており、多くのクリスチャン・シンガーやミュージシャンが聖霊の流れに乗っています！より多くの人々がどのようにして満たされるのか、又、いかにして唯一の生ける神を礼拝するかを学ぶことを待ち望んでいます。

CFNJ聖書学院は創立当時から、賛美礼拝の油注ぎを神から与えられています。今までの年月を通して、私たちは学生達の生活が日々の賛美礼拝の力によって変えられていくのを見てきました。また、日本各地や世界の国々において、卒業生達からその油注ぎが流れ広がっていくのを見てきました。CFNJ聖書学院は霊とまことによって神を礼拝することを求めているすべての人々に門を開いています。私たちと共に王の王、主の主イエス・キリストをほめたたえ、たくさんの人々、町々、国々の歴史を変えていきましょう！■

CFNJ 聖書学院理事会からのお知らせ

# CFNJ聖書学院の 理事長が変わります

## ロドルフォ・ガルサ牧師が新理事長に

■この度、4月14日(水)の定例の理事会に於いて学院創立以来長きにわたり理事長を務められた「チャールズ・J・グリコ師」が退任され、後任にメキシコ、アミスタ・デ・モントレ教会牧師の「ロドルフォ・ガルサ牧師」が正式に次期理事長となることが決定いたしました。グリコ師は創立者として長く理事長を務められました。年齢及び健康上の理由から自主的に退任の申し出をされ受任されました。これまでの尊いお働きに心からの感謝を申し上げます。又、新たな理事となられたガルサ師の為に祈りをよろしく願います。以下、退任のグリコ師、及び、新任のガルサ師のご挨拶です。



## チャールズ・グリコから、キリストにあって愛する兄弟姉妹へ

CFNJ聖書学院を監督する理事会を導く為に、主がロドルフォ・ガルサ牧師を送ってくださった事を感謝します。CFNJ聖書学院は、米国テキサス州ダラスにあるCFNI 聖書学院の、全世界に46校ある姉妹提携校の1つです。私は今後、顧問的な立場としてCFNJ聖書学院の理事会の援助をさせていただきます。神様の願いは、日本にいるすべての人がイエス・キリストを信じることによって救われ、主との親しい個人的な関係を育むことです。(I テモテ 2:4) このことにおいて信じる者を援助する為に、今から25年前に聖霊様がCFNJ聖書学院を生み出してくださいました。あなたのご家族やお友達の中で、CFNJ聖書学院に入学し(ステップ・イン)、更に霊的に成長し(ステップ・アップ)、イエス様と更に親しくなって、聖書学院から送りだされる人となる(ステップ・アウト)方がおられるかどうかお考えください。CFNJ聖書学院の為に、又、聖霊様の力によってイエス様と親しく歩む、あなたご自身の召しのためにお祈りください。

主に目を向けつつあなたと共に立つ、チャールズ&ダイアン・グリコ

## ロドルフォ・ガルサから、敬愛する友人の皆様、 並びにCFNJの同労者の皆様へ挨拶を送ります！

この度、CFNJ聖書学院の新理事長として、この国の祝福の為に25年以上もイエス様に仕え、人々を整えているこの素晴らしい学院に携われることに、大きな誇りを感じております。今日、神の御国の拡大の為に、この世に働き人を送り出す事には大きなチャレンジがともないます。しかしながら特別な今だからこそ、恵みの主はそのチャンスを私達に与えてくださっています。この機会を活かすべく学院は、学生ひとりひとりが御言葉を深く学び、御霊の力により品性が築かれ、信じるものに永遠のいのちをもたらす福音をこの世に大胆に宣べ伝えることができるように訓練を行っていきます。学院の母校であるアメリカのダラスにあるCFNI聖書学院は、現在、世界で最も尊敬されている聖書学校の一つです。学院はその覆いのもとにあり、そのガイドラインとビジョンに従って前進しております。教団教派を超えて、主から召しを受けておられる学生達を歓迎いたします。そして学生が学びを終えたなら、御霊が導かれるあらゆる所で主の御国を教え広げること助けるために学生を教会に送り返します。大きな必要があるこの時代に、皆様からの惜しみないご支援とお祈りを心から感謝申し上げます。この目的を成し遂げるために共に御国を建て上げてまいりましょう！

主の愛に在ってあなたと日本に仕える、ロドルフォ・ガルサ

# 新入生のご紹介

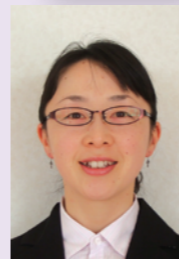
入学式/期待を胸に学びがスタート!

■2010年4月12日(月)午前9時よりCFNJ聖書学院の入学式が執り行われました。この年度、新たに6名の新入生がキリストの弟子となるべく学びをスタートしました。新入生達は創立者のグリコ師と新たに理事長となったロドルフォ・ガルサ師からの励ましのメッセージを頂き、緊張しながらも期待を胸に、これからの学びの決意を語りました。是非、それぞれの学院生活のために祈りをお願いいたします。



福井 大化 (北海道帯広市出身)

「ハレルヤ!主の導きによりこの学院に入学できたこと、本当に嬉しく思っています。学びの期間中、主という陶器師の手によって自分が大きく造りかえられるのを願っています。頭の知識だけではなく、生きた主の御業を感じ、体験し、ますます信仰が増していくようにしたいです。学院に関わる全ての人に、祝福と導きがありますように!」



田中 亜衣 (兵庫県出身)

ハレルヤ主の御名を賛美します!神様と真剣に向き合い、主の言葉に耳を澄まし、主に従う者へと造り変えられたいと思い、入学しました。学院での学びも生活も主が与えて下さった恵みの時ですので、多くのことを吸収していきたいと願っています。共に学ぶ兄弟と様々なことを分かち合える環境も感謝です。祝福の基、神様の通りよき管となれるよう、喜び祈り感謝しつつ主の訓練を受けていきたいと思っています。



荒木 聖香 (大阪府出身)

本当にこの学院に導かれた事を感謝します!!私はある時、神様に対して本当に失礼な事をしていた事に気付かされました。その時から、神様の事をもっと知りたい!!交わりたい!!土台をしっかりと築きたいという思いが強くなり、この学院に入学しました。学院生活では喜び、葛藤し、砕かれ、癒されながら神様と共に歩いていきたいと思っています。これからの学びを神様に期待します!!



佐川 勇樹 (北海道石狩市出身)

石狩ジーズスコミュニティチャーチでピアノ奉仕をしている佐川勇樹です。実家は学院の近くにあり。僕はこの学院で、皆との交わりや神様が与えて下さる祈りの時間、賛美出来る毎日に期待しています。よろしくお願いします。



金 旻成 (韓国出身)

「初めまして、キムミンソンと申します。僕は韓国から宣教師として来ました。僕はJCC(石狩にある卒業生の開拓教会)で協力宣教師として働きながら、この学院に入学して、もっと神様の御言葉と、神様を知るため勉強しようと思います。これからも神様が導いてくださるこの道を、ちゃんと歩きながら、この日本のリバイバルのために生きようと思います。では、よろしくお願いします。」



永田 みゆき (大阪府出身)

この学院に入学して、一年を通じて願っている事は「楽しむ」という事です。主を知る事を楽しみ、寮生活を楽しみ、お休みの日は最大に楽しみながら、主に仕える事、先生方や兄弟姉妹に仕える事を学び、楽しみたいと思っています。実際には楽しめない状況に会う事もあるかもしれませんが、そんな時こそ「楽しむ」事を実践したいと思っています。そして主に用いていただきやすい器となるように整えられる事を願いつつ、かけがえのない宝物のような学院生活であるようにと期待しています。



在校生たちの歓迎の賛美



祈られる学生

仲良く記念撮影



■イエス様がこの世に来られたのは、「悪魔のしわざを打ちこわすため」(1ヨハネ 3:8)であり、私たちに永遠のいのちをもたらす、主と親密な関係を持つためであったのと同じように、私たち一人一人は、真理・愛・信仰という武器とイエス様の御名と聖霊の力による祈りをもって、「戦うために生まれた」のです。「神の御国が来る」ために、今日の世界問題のために共に祈りましょう。この世に、神の民の一致の祈りに匹敵する力はありません。もし私たちがでないなら・・・誰が？ もし今でないなら・・・いつ？

# インド

■近頃、ヒンズー教徒過激派は、「強制改宗」させたと誤った主張をして、福音を分かち合うクリスチャンを攻撃し迫害する事件が14件ありました。

●祈り：福音は神様からの真理の表れであり、その人が心から信じることを求めておられます。それは決して他の人から「強制」されるものではありません。インドのクリスチャンが継続して強められるように、そして多くの人々が御言葉に心を開き続けるように祈りましょう。

# ネパール

■ハレルヤレポートです！あるテレビ視聴者の1人が新約聖書のコピーを20部求めました。それを受け取った後、彼の友達19人がイエス様を救い主として信じ、信仰において成長すべく教会に集まっているとのこと。クリスチャン放送ネットワーク(CBN)は、50ヶ国以上の国で運営され、106ヶ国語で放送されており、230の国々や地域に届いています。

●祈り：「水が海をおおうように、地は、主の栄光を知ること満たされる」(ハバクク 2:14)ように祈りましょう。

# 北朝鮮

■公共であっても個人的なものであってもクリスチャンの礼拝は投獄や拷問につながります。聖書を運んだり、イエス様について話すことは、その家族3代に亘る死や迫害を意味します。

●祈り：キリストに従うために危険を冒し続ける推定40万人のクリスチャンのために祈りましょう。

# アメリカ

■ハレルヤレポートです！宇宙の起源について聖書的教えを推進しているケンタッキー州の博物館は2007年の開館以来、訪問者が100万人を突破しました。子どものいる多くの家庭が、世界の創造に関する聖書の真理に合致している正確な科学があるという証拠を見ています。

●祈り：アメリカや日本、その他の国において、教科書やメディアが明確に創造者(私たちの神)を示す真の科学の事実を明らかにするようお祈りください。

# イランとイスラエル

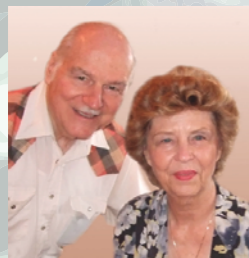
■イスラエルは敵に囲まれますが、最大の脅威はイランからもたらされています。その国の大統領は、イスラエルを「地図から消し去らなければならない」と公的に宣言し、イスラエルとの関係を正常にしようとするあらゆる試みも公然と非難しています。イランは、ヨーロッパと同様に、イスラエルとアメリカ北東地域ならどこでも打つことができるミサイルを保有しています。

●祈り：皆様の祈りは、イスラエル国の盾となる防御の鎖において、欠かすことのできないつながりであり、イスラエルのために祈る国々に祝福をもたらすものです。

祈りとは多くの人々のための、炎であり・・・芯に火を灯し・・・聖霊の爆発力を解放するものです！

世界のための祈り

とりなし手の皆様へ



チャールズ&ダイアン・グリコ

# 2010年1学期の ゲストスピーカーのお知らせ

●ゲストスピーカーの講義の聴講は無料です。  
(席上献金あり) どなたでも受講できます。

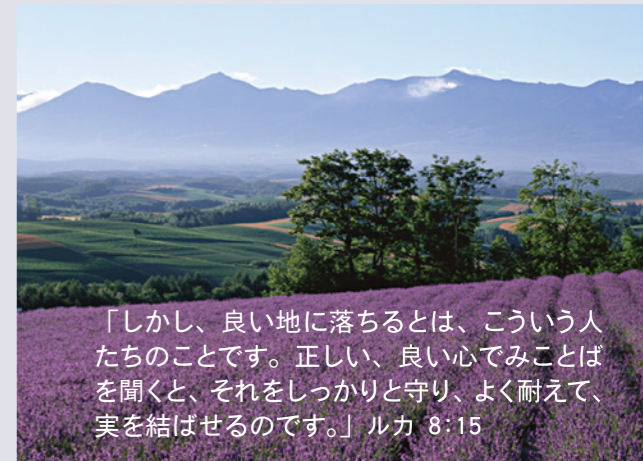
**藤田桂子師** ●6月23日(水)「性意識の問題」  
●3時間目 / 11:05 ~ 12:00  
JCM(ジャパン クリエイティブ ミニストリー)



●6月1日(火)~講義  
**キース・バンクス師**

プロのワーシップドラマーであり、油注がれた教師。ドラム経験は20年に渡り、現在CFNIドラム講師。数多くのワーシップ・カンファレンスやドラム・クリニック、DVD録画、コンサートなどに参加。礼拝についての教えには定評がある。

●時間 / 1-2-3時間目 (午前8:45~12:00まで)



「しかし、良い地に落ちるとは、こういう人たちのことです。正しい、良い心でみことばを聞くと、それをしっかりと守り、よく耐えて、実を結ばせるのです。」ルカ 8:15



●6月28日(月)~7月1日(木) / 講義・2日(金) / 卒業式

**米村英二師**

熊本県大津市 大津キリスト教会牧師・学院顧問

●時間 / 2-3時間目 (午前10:00~12:00まで)

※詳しい資料ご希望の方は、事務局までお申し込み下さい。

無料体験  
入学実施中!

■期間: 2010年7月1日迄  
(試験期間を除く)



あなたを歓迎します!  
新入生募集中!!  
2学期・3学期からの入学も可能です!

cfnj.com  
ホームページを  
ご覧下さい!

宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

**CFNJ聖書学院**

# YOUTH FOR THE NATIONS 2010

「深みに漕ぎ出せ! ~Go Deeper!~」

「私に出来ることは何だろう?  
もっと、イエス様に従っていきたい!!」  
と願う若者達よ集まれ!!



3つのWORK  
ネットワーク  
フットワーク  
ホームワーク

ジャレッド・ブライアント師  
グローバル・ユース・ネット責任者



アメリカから  
ユースチームも  
参加決定!!

「話が終るとシモンに、  
「深みに漕ぎ出して、網をおろして魚をとりなさい。」と言われた。  
かたも、福音書から」

ユース・フォー・ザ・ネーションズ  
**YOUTH FOR THE NATIONS 2010**

7月16日(金)・18日(日)  
会場 CFNJ 聖書学院  
http://www.yfnjapan.com/

■今年で通算14回目を迎えるYouth For The Nations。今年のテーマは、ルカによる福音書5章4節のイエス様の言葉から「深みに漕ぎ出せ! ~Go Deeper!~」です。このイエス様の言葉を実行し、一緒にいた仲間の船も沈みそうになるほどの大漁の奇蹟を見たペテロは、その後イエス様に従い人間をとる漁師へと変えられていきました。この奇蹟をなされたイエス様を信じ、みんなで集い、網(ネットワーク)が破れないようにみんなで手を結び合い、イエス様を伝えること(フットワーク)、どうやって未信者や新クリスチャンをフォローしていくかを考え(ホームワーク)、深みへと漕ぎ出そう!

■日 時 / 2010年7月16日(金)~18日(日)

■場 所 / CFNJ聖書学院

■参加費 / 5,100円 (2泊3日・食費含む)

／参加登録のみ 1,500円 (詳しくは参加申込書をご覧ください)

※宿泊人数に限りがありますので、お早めにお申し込み下さい。宿泊は寝袋持参になります。

■リーダーズセミナー参加費 / 1,000円

■申込方法 / 参加申込書をFAXで送信後、参加費合計額を下記の口座へお振込ください。  
[7/6(火)締切]

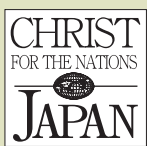
(郵便振替口座) [加入者] ユース・フォー・ザ・ネーションズ [口座番号] 02740-9-45149

## SCHEDULE

| 1日目 (7/16 金) |                 | 2日目 (7/17 土)    |                      | 3日目 (7/18 日) |                       |
|--------------|-----------------|-----------------|----------------------|--------------|-----------------------|
|              |                 | 7:30            | 朝食                   | 7:00         | 朝食                    |
|              |                 | 8:30            | グループ別<br>デモンstration | 7:30         | 解散(各教会へ)              |
|              |                 | 9:30            | 集会②<br>[リーダーズセミナー]   |              |                       |
|              |                 | 12:00           | 昼食                   |              |                       |
|              |                 | 14:00~<br>16:00 | レクリエーション             |              |                       |
| 18:00        | 受付              | 17:00           | 夕食                   |              |                       |
| 19:00        | 集会①<br>スモールグループ | 18:30           | 集会③<br>スモールグループ      | 16:00~       | Mission Time<br>18:00 |
| 21:30        | 入浴・就寝           | 21:30           | 入浴・就寝                | 18:00        |                       |
| 23:00        |                 | 23:00           |                      |              |                       |

参加申込書は、WEBサイト  
からもダウンロード出来ます。

<http://www.yfnjapan.com/>  
YFN専用メールアドレス /  
[info@cfnj.com](mailto:info@cfnj.com)



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

# CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北 6 条 5 丁目 157

(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: [www.cfnj.com](http://www.cfnj.com) 郵便振替: 02780-4-4688

●e-mail: [office@cfnj.com](mailto:office@cfnj.com) 学院長/鍛冶川利文

